

WG 活動報告

19. GVHD 予防法と GVHD

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者：村田 誠	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
木藤 克之	滋賀医科大学附属病院	無菌治療部
足立 壮一	京都大学医学研究科	人間健康科学系専攻
大島 久美	聖路加国際病院	血液腫瘍科
仲宗根 秀樹	自治医科大学附属 さいたま医療センター	血液科
稲本 賢弘	Fred Hutchinson CRC	
東梅 友美	ミシガン大学がんセンター	血液・腫瘍内科 BMT プログラム
綿本 浩一	江南厚生病院	血液・腫瘍内科
内田 直之	虎の門病院	血液内科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
中根 孝彦	大阪市立大学医学部附属病院	血液内科・造血細胞移植科
瀬尾 幸子	Fred Hutchinson CRC	Infectious Disease Division
酒井 リカ	神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
高見 昭良	金沢大学附属病院	輸血部・血液内科
池亀 和博	兵庫医科大学病院	血液内科
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学	腫瘍・血液内科
桑原 英幸	横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
加藤 剛二	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
高塚 祥芝	財団法人慈愛会今村病院分院	血液内科
寺倉 精太郎	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
西脇 聡史	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
古川 達雄	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・第一内科
森 毅彦	慶應義塾大学医学部	血液内科
塚田 信弘	日本赤十字社医療センター	血液内科
横山 洋紀	東京慈恵会医科大学	腫瘍・血液内科
永田 泰之	聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院	血液内科
諫田 淳也	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
森島 泰雄	愛知県がんセンター研究所	疫学・予防部
田中 淳司	北海道大学病院	血液内科
宇都宮 與	財団法人慈愛会今村病院分院	血液内科
垣花 和彦	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
伊豆津 宏二	虎の門病院	血液内科
高木 伸介	虎の門病院	血液内科
福田 隆浩	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
磯山 恵一	昭和大学藤が丘病院	小児科
豊嶋 崇徳	九州大学病院	血液腫瘍内科
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液内科

② 2011 年末時点で承認された研究、及び業績一覧

「シクロスポリンおよびタクロリムスによるGVHD予防法の比較検討」 PI: 酒井 リカ
学会発表・論文業績: 未発表・執筆中
「血液悪性腫瘍に対する同種造血細胞移植における抗リンパ球グロブリンの臨床的検討」 PI: 加藤 剛二
学会発表・論文業績: 未発表・執筆中
「前処置別の急性 GVHD のリスク因子解析」 PI: 仲宗根 秀樹
学会発表・論文業績: 未発表・執筆中
「既存データを用いた年齢別の急性 GVHD 発症後の予後の検討」 PI: 中根 孝彦
学会発表・論文業績: 未発表・執筆中
「急性 GVHD に対するステロイド一次治療の成績」 PI: 村田 誠
学会発表・論文業績: 村田 誠他 第 34 回日本造血細胞移植学会総会(発表予定)
「GVHD と TMA の関連性の検討」 PI: 吾郷 浩厚
学会発表・論文業績: 未発表・執筆中
「既存データを用いた臓器別慢性 GVHD の発症様式、発症頻度、予後の解析」 PI: 諫田 淳也
学会発表・論文業績: 未発表・執筆中
「一元化管理事業データに基づく造血幹細胞移植後の閉塞性細気管支炎の解析」 PI: 仲宗根 秀樹
学会発表・論文業績: 仲宗根秀樹他 第 34 回日本造血細胞移植学会総会(発表予定)
「GVHD と GVL 効果に対するドナーとレシピエントの性別の影響」 PI: 大島 久美
学会発表・論文業績: K Oshima, et al. 2012 BMT Tandem Meeting (発表予定)

③ 会議開催記録(2011 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2011/1/16	駒込病院 別館 講堂	晩期合併症と QOL-WG、GVHD 以外の移植関連合併症-WG との合同会議を行い、各 WG 間で重複している研究課題について調整を行った。
2011/7/2	名古屋第一赤十字病院 会議室 4	研究の途中経過について PI より報告し、検討を行った。

④ WG の今後の活動方針・抱負など

同種造血幹細胞移植における GVHD の制御は移植の成否の鍵であり、当 WG に対する期待とそして責務は大変大きいものがあると考えています。WG 発足当初よりメンバー間で活発な議論がなされ、これまでに 9 つの研究計画が承認されました。一部は学会発表まで進捗していますが、より一層の成果を発信するべくメンバー一同鋭意努力するところであります。

また、上記研究課題一覧にはない新たな切り口での研究の可能性もあり、新メンバーの加入も歓迎いたします。